

クラブ管理運営部門理事 森山義文理事**親睦家族委員会 高橋貢委員長**

少ない予算の中ではありましたが、北クラブ会員の皆様が十分納得できる内容だったと思います。特に過去あまり記憶に無い、手作りの出し物を用意した岸壁炉辺での出港式、皆様殆ど記憶に残っていないとは思いますが、あの時の良く分からない船は、高橋委員長の家で親睦家族委員会が集まり、ペンキ塗りを致しました。高橋委員長の委員会に懸ける熱意は、今年度の親睦活動の充実が証明していました。常に大きなイベントの前には、親睦家族委員が一致団結していましたので、委員会内の融和とコミュニケーションは十分だったと思われます。

**プログラム委員会 徳山淳一委員長**

今年度中嶋会長の要望テーマであります、出席向上に繋がる様な楽しみな例会作りという部分に関しては、今年度の会長幹事のお二人のキャラクターが、楽しみそのものでありましたので、十分達成できたと思われます。

出席・資料管理委員会 西川哲史委員長～中井寛社会奉仕委員会副委員長

当初例会での出席率の発表は、前々回の出席率という事でしたが、西川委員長の代理を務めた小林委員が、本日の出席率の発表に変更したり、その小林委員が突然転勤で退会したりで、資料管理には全く手が回らず、下期は中井社会奉仕副委員長に出席委員会委員長を兼務して頂きました。毎回の出席のチェックがこのままで良いのか、もっと効率的な記録方法を考えた方が良いのではないかと、每例会で出欠の判押しをしながら、考えさせられました。

会員増強・会員維持部門理事 能登信孝理事

今年度、会員増強・会員維持部門の担当理事をやらせて頂いております能登です。この不況の経済状況とはいえ、年度初めより5名の退会者を出しまして、2名の増強しか出来ませんでした。アカデミー部門の担当理事さんをお願いしまして、家庭集会では必ずテーマに貰いましたが、推薦者が少なかったです。北ロータリークラブはずっと70名以上の会員数でしたので、70名を切ると運営上、経済的にも厳しくなりますので、会員数70名は維持したいと思っておりましたが無理でした。私の力不足で前年度の会員数が維持出来なかったのも、次年度担当理事さんをお願いしたいと思っております。今年度のご協力ありがとうございました。



アカデミー部門理事 小松亮次理事

この一年を振り返って、一言ご挨拶申し上げます。アカデミー部門という大役を仰せつかり、大変な責任を感じて参りました。中嶋会長さん、萩原幹事さんの強力なご指導と、会員皆様方の協力により、無事今日まで過す事が出来ましたことを、心よりお礼申し上げます。特に三委員会委員長はじめ、各委員のご協力を頂きまして、何とか一年間の活動計画通り実施する事が出来ました。ロータリー情報委員会石塚委員長さんには、ワンポイント情報を例会でお話をして頂いております。ロータリー研修委員会については、田村委員長さんのもと、新入会員に対するオリエンテーションの実施、家庭集会については本年度4回実施致しました。特に、当釧路北クラブは、2500地区内では、最も若い足立パストガバナーの指導のもと、注目されておりますクラブであり、中嶋年度地区内で最も多い退会者が出ている現状を、各班とも危機感を持って開催して頂きました。その結果、具体的な候補者名は21名推薦を頂いております。その後、会長幹事はじめ精力的に勧誘を勧めていただきましたが、時間的な制約もあり、思うように増強が出来ず、申し訳ありません。今回推薦を頂きました方については、引き続き三原会長年度で働きかけをお願い致します。この家庭集会を通じて会員相互の親睦と交流を深めて頂きました。ロータリー理解月間フォーラムの実施、朝粥塾の開催については、松原パスト分区代理にお願いし、盛会裡に終える事が出来ました。広報委員会泰地委員長さんには、RI、地区、各クラブの情報提供と会員間のコミュニケーションとロータリー活動と、親睦を広げて頂いております。ご協力に感謝致しております。最後にこの一年お世話になりました会員の皆様に、重ねてお礼を申し上げますと共に、三原会長はじめ来年度のスタッフの皆様のご活躍を心からご期待を申し上げ、私のお礼の言葉と致します。



会計・理事 石井東洋彦理事

中嶋年度を振り返って、会計としては、クラブ協議会で申し上げたように、会員の皆様に上期、下期ともに早々に会費を納入頂いた事に感謝します。支払いが滞る事無く年度を終えようとしております、中嶋会長の努力で年会費を抑えた中でも、各理事、委員長さん方の協力で、何とか次年度への繰越金も生み出せそうな感触を持っております。中嶋年度のスタートは足立ガバナー年度の終わりでもあった訳ですが、実際は後始末から日本事務局への報告があつたり、決算書の作成があつたりと、直前ガバナー事務所としての業務が続いていました。山本ガバナーの地区大会がいつもより早く9月になったこともあって、収支の整理をして監査を受けて、という時間が無さ過ぎて、地区財務委員長の小野寺さんの力が無かったらと思うと、今でもゾッとします。



そんな状態の時でも、クラブの会計としての業務は毎週ある訳ですから、スタートから3か月くらいは、事務所とクラブの仕事がごっちゃになったり、という事もありました。これはガバナー事務所のスタッフのままでクラブ会長・幹事がスタートしたという雰囲気でしたから、よく言えばスムーズに、悪く言えばけじめの無いままに中嶋年度が進んでいった気がします。昨日、保護司の研修がありました。今回のテーマは「飲酒運転の防止」で、その中で「酒の単位と身体からアルコールが抜けるまでの時間」が話題になりました。ビールだと500mlの缶が1単位、缶酎ハイだと350mlが1単位、日本酒だと1合、20度Cの焼酎だと水割りのグラスで3対1ぐらいが1単位。1単位の酒を飲んでアルコールを抜こうとすると4時間かかるのだそうです。「1時間仮眠したから」という事では酒気帯びになりますし、2杯、3杯飲んで4時間寝てくるまで仕事に、などというのはアルコールが抜けていない事になります。芋焼酎を大きなジョッキで2枚、3杯重ね、更にどこかに寄らないと帰れないNさん、「昨日、帰ったのが遅かった」などと運転しながら告白するHさん、そのHさんの挑発に乗って、テキーラを一気飲みするOさん、くれぐれも飲酒運転で事故を起こして、僕が保護観察の担当者になるなどという事のないようにお願いします。

新世代・財団・米山部門 坂入信行理事

新世代田中委員長、財団川尻委員長には、1年間大変お世話になりました。

1年を振り返って見ますと、10月に米山月間、11月のロータリー財団月間と2カ月続いている活動になりますので、一寸しんどい部門・月間でありましたが、私は自分の身の丈に合った活動行動しか出来なかった事で、両委員長・執行部の方々には大変お世話になりましたが、両委員長には見事にこなして頂きました事に、改めてこの場をお借りしまして感謝申し上げます。



私自身はと言いますと、足立ガバナー年度の中嶋代表幹事からこの1年が始まっており、私が病に侵されて、仕事、ロータリー活動はどうしようとしていた時、まだRC活動は暫く休止と思っている矢先に、地区副幹事として韓国との青少年交換のスケジュールと段取りを相談され、これを進めていくうちに、旭川での青少年の歓迎会と一緒に出席しなければならないと言われ、そこから第3分区旭川行きが始まり、次いで5分区、6分区と公式訪問の随行、留めは中嶋会長と8分区に同行した際に、笹谷第8分区AGを紹介され、E-ラーニングを担当させられ、知らぬうちに韓国での3590地区大会に参加随行する事となり、あれよあれよのうちに今年一年が始まり、中嶋丸に乗船させられておりました。クラブ運営に参加させて頂いたと言うより、知らぬうち中嶋会長、萩原幹事という人間におだてられながら、この2年間付き合ってきたと言った方が正解な感があります。しかし、それは人任せでなく、ご自分も一緒になり率先して行動・活動するから、私は付いてこられたのではないかと痛感いたしております。ご自分達の年度だからではなく、常日頃から助けて頂いたから、共に歩み、お手伝いできるという素直な気持ちで取り組み、立場の上下でなく共に行動してくれるところが、感銘出来たからだと思いません。

以前、私が足立ガバナーはクラブ運営・地区運営において、とっさの判断で正解の答えを出せるのか、中嶋会長に聞いたところ、足立ガバナーは答えの書いてある「あんちょこ」を持っているんだと、冗談のように答えてくれた事がありましたが、私から見れば同じくらい、中嶋会長も正解の書いてある「あんちょこ」を持っていると思っております。また、それは何処に売っているのですか？と尋ねると、笑い飛ばされましたが、こうして付き合いをさせて頂くと、それは常日頃の心構えと日々のロータリークラブの勉強と人の輪の大切さである事を中嶋会長より学びました。まずは自分が率先して動くこと、取り組むこと、把握していること、これが本当のクラブ会長の姿であるのではないかとも思いました。よくロータリーの年度を、何とか丸と、船に例えますが、それは、会長が船頭であり、機関長が幹事であり、会員はそれぞれ役割分担があり、その年度の味と航海図を作り、航海する訳ですが、常に率先して事を受けて、こなしていく姿に、私は感銘を受け、この1年を過させて頂きました。私にとってこの1年は、いや2年間は充実感のある、また、意味のあるクラブ運営、地区活動をさせて頂いた事に、改めて感謝させて頂きます。中嶋会長、萩原幹事、お疲れ様でした、そして有り難う御座いました。